

平成 30 年度 堺市感染症発生動向調査委員会 会議録

開催日時：平成 30 年 10 月 4 日（木）14:00～16:00

場所：堺市衛生研究所別館（堺市保健医療センター内）1 階会議室
（堺市堺区甲斐町東 3 丁 2 番 6 号）

出席委員：小林 久和委員、川村 尚久委員、岡村 隆行委員、平山 謙委員、
池上 雅久委員、長 等委員、淵 勲委員、石田 佳代子委員、
八田 宏之委員、山本 憲委員（10 名）

欠席委員：鈴木 克洋委員、藤井 史敏委員（2 名）

事務局：堺市衛生研究所

樋口次長、三好主任研究員、福田主任研究員、杉本副主任研究員、木村研究員

議案：

1. 議題（1）平成 29 年感染症発生動向調査事業報告

平成 29 年の堺市内での感染症の発生状況について、報告を行った。

（2）堺市内定点医療機関の変更について

平成 30 年内に 4 ヶ所の定点医療機関の変更があった件について報告を行った。

（3）感染症トピックスについて

百日咳が平成 30 年 1 月 1 日より全数把握感染症となった件について、全国での発生状況及び堺市における発生状況を加えて説明を行った。

平成 30 年夏より風疹の届出が増加している件について、全国及び大阪府堺市の発生状況を踏まえて説明を行った。

（4）法・通知関係の報告

風しんの届出事項の変更

百日咳が定点把握感染症から全数把握感染症に変更

急性弛緩性麻痺が 5 類全数把握に追加

腸管出血性大腸菌による食中毒等の調査及び感染予防対策の啓発について

麻疹発生報告数の増加に伴う注意喚起について

A 型肝炎患者の報告数増加に伴う注意喚起について

風しんの届出数の増加に伴う注意喚起について

2. 主な意見等

- ・梅毒について、増加傾向があると思われる。
- ・風しんの増加が見られるとのことだが、啓発が大切である。